

VII 阪神電車のクエスチョン(答え)

このページまでにありました4つの「阪神電車のクエスチョン」はいかがでしたか。いずれもお客さまに安心して阪神電車をご利用いただくための設備やツールです。

A1. 駅に設置してある非常通報装置の動作を、列車の乗務員に知らせるための表示灯です。

(Q1.はP.13に掲載しています)

「ホームの安全対策」でも紹介していますが、お客さまがホームから線路に転落された場合などに、ホーム上に設置した非常通報ボタンを操作することで、表示灯が点灯し、列車の乗務員に異常を知らせるとともに、ホーム上の回転灯の点灯、ブザーも鳴ります。

※ホーム上に設置位置を表示しています。ホームからの転落など、異常があった場合には、非常通報ボタンを押していただくようお願いします。(→P.18 ホームの安全対策をご参照ください)



非常通報ボタン

A2. 踏切の異常を運転士に知らせる信号です。(Q2.はP.14に掲載しています)

五角形の信号は、「踏切の安全対策」でも紹介していますが、踏切障害物検知装置(発光器と受光器の組み合わせ)の光線が踏切道を横断する車や人などに4秒以上遮断された場合や遮断棒が完全に降下しない場合に、赤色で回転発光し、運転士に異常を知らせるもので、「踏切障害発光信号機」といいます。

※踏切道内で自動車のエンストや脱輪、横断者の立往生などの異常があった場合には、非常ボタンを押していただくようお願いします。(→P.18 踏切の安全対策をご参照ください)



非常ボタン

A3. はい、決まっています。(Q3.はP.15に掲載しています)

バリアフリー整備ガイドラインでは、通勤型の鉄道車両について“客室には車いすスペースを、1列車に2か所以上(3両編成以下の列車については1か所以上)設ける”こととされています。

阪神電車では全編成に設置しています。また、車両新造や既存車両の改造を行う際には、全車に設置箇所を増やし、車椅子・ベビーカーをご利用のお客さまに快適にご利用いただけるよう努めています。

※車いす・ベビーカーをご利用のお客さまは、安全のために車いす・ベビーカースペースもご利用ください。

車椅子・ベビーカースペースの表示



A4. 列車の運行情報(列車走行位置)、各駅の情報(行先案内(乗車位置目標)、ダイヤ検索、ホーム案内、構内図、時刻表)等をご確認いただけます。(Q4.はP.18に掲載しています)

ほかにも、接続している鉄道会社へのリンク、ダイヤ乱れ時の遅延証明書や振替輸送時の最寄りの他社線までのご案内を掲載していますので、ご利用ください。

阪神アプリ 配信中!

遅延・運休情報をプッシュ通知でタイムリーにお知らせ!

- Android 4.4以降、iOS 9.0以降が対応OSとなります。
- 利用料は無料です。ただし、ダウンロードやご利用時にかかる通信料はお客さまのご負担となります。

阪神アプリのダウンロードはこちらから▶



QRコード (Android)



QRコード (iPhone)

安全報告書の内容や当社の安全に対する取組みについてのご意見等につきましては、下記のホームページ内の「お問合せ」サイトでお伺いしています。

【阪神電気鉄道ホームページ】 <https://www.hanshin.co.jp/>

※ホームページ画面下の「お問合せ」から、ご意見等をお寄せください。